

令和6年度少子化等に関する若者世代へのWeb調査業務委託に係る  
ご質問への回答について

| No. | 質 問 内 容   | 回 答   |
|-----|---|---|
| 1   | <p><b>様式3 実施中の類似事業</b><br/><b>様式4 業務実績(概ね過去5年(令和元年度～令和5年度)の類似業務実績)</b></p> <p>「実施中の類似事業」、「類似業務実績」とあるが、類似事業(業務)としてどのような事業(業務)が該当するか。</p>                                 | <p>「実施中の類似事業」、「類似業務実績」を確認する主な意図としては、企画提案募集要領の3応募資格(11)で示すとおり、「今回の業務委託を遂行するために必要な知識、技術及び実績等を有する者である」かを判断するためにあります。</p> <p>なお、県としては、今回の企画提案の類似業務として、webを使ったモニター調査等を想定しておりますが、応募者判断により類似業務として掲げる提出内容を妨げるものではありません。</p>   |
| 2   | <p><b>仕様書p1 4 業務内容</b><br/><b>(1)アンケート調査の実施</b></p> <p>調査対象が沖縄県内に住む18歳から49歳とのことだが、対象者の抽出は県を通じて市町村に依頼するのか。</p> <p>なお、こども若者政策課の「令和5年度沖縄県子どもの実態調査」では県から各市町村に抽出を依頼している。</p> | <p>調査方法については、特定の調査方法を指定するものでなく、本調査をより効果的・効率的に行えるかとの観点から、対象者の選定や回収方法及びその理由について企画提案書でお示しいただき、選定したいと考えております。</p>   |
| 3   | <p><b>仕様書p2 4 業務内容</b><br/><b>(1)アンケート調査 ①調査対象</b></p> <p>回答数目安1,000件(10代100件、20代以上各300件)はどのような見立てによるものか。</p>   | <p>回答数目安については、本調査の分析により施策等を考案する際に、相応の数が施策実行の裏付けとなることが期待されることから、標本数の最小値として1,000件を設定しています。</p> <p>また、各年代の回答数内訳については、年代毎の傾向の単純比較が可能となるよう、10代の回答数を除いた回答数総数を均等に区分したことによります。</p> <p>なお、仕様書で示した回答数については、あくまで目安であるので、合理的な調査が可能となる標本数や、効果的な分析が可能となる内訳等ありましたら、企画提案に併せてご提案いただけたらと存じます。</p> |
| 4   | <p><b>企画提案仕様書p.2 4 業務内容</b><br/><b>(1)アンケート調査 ①調査対象</b></p> <p>18歳～19歳の割付の回収が未達の場合は、どのような対応を想定されているかご教示いただけますでしょうか。</p>   | <p>企画提案仕様書p.2 4 業務内容(1)アンケート調査 ①調査対象の表は、年代ごとの内訳の目安として示しています。</p> <p>なお、県としては、企画提案仕様書に沿った提案をしていただきたいと考えておりますが、仮に各年代毎に目安として示した回答数を回収できなかった場合の対応策などについては、企画提案に併せてご提案いただけたらと存じます。</p>   |